

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)ほか			路線又は箇所名等		二級河川一宮川水系 一宮川、 阿久川、豊田川、三途川、水上川		
事業所管課			河川整備課			事業主体		千葉県		
事業化 年 度		昭和 46 年度	用地着手 年度	昭和 49 年度		工事着手 年度	昭和 56 年度	再評価の 理 由	再々評価	
費用便益比 B/C		4.96 (6.00)	現在価値化 した総便益	10,778 億円 (1,791 億円)	現在価値化 した総費用	2,175 億円 (298 億円)	基準年	令和 2 年度	供用開始 年度	令和 11 年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

(目 的)

一宮川では昭和 46 年度から河川改修事業に着手しているが、平成元年および平成 8 年の台風により記録的な大水害を受けたことから、2 度にわたる河川激甚災害対策特別緊急事業により、調節池の建設と河道掘削、堤防嵩上げ等を実施してきた。

しかし、令和元年 10 月 25 日の大雨により、一宮川流域、特に茂原市、長柄町、長南町において家屋約 4,000 戸、官庁舎 2 棟などの浸水被害が発生しており、早急に治水安全度の向上を図る必要がある。

(主な実施内容)

河道掘削 L=7.04km、河道拡幅 L=3.0km、護岸法立て L=4.1km、第二調節池増設 V=400,000m³ 等

【事業の進捗状況】(R2 年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全 体	953.4	637.9	315.5	66.9

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域は、河床勾配が緩やかになった中流域で支川が合流するため、洪水氾濫や内水氾濫が生じやすく、かつ、中流域を中心に、河川沿いの低平地に市街化が進行し、さらに地盤沈下が進行している。したがって、特に中流域において浸水被害が発生しやすい。

② 主な水害状況

- ・平成元年 8 月 1 日(台風 12 号) 浸水面積 614ha 浸水家屋数 2,460 戸
- ・平成 8 年 9 月 22 日(台風 17 号) 浸水面積 1,260ha 浸水家屋数 2,594 戸
- ・平成 25 年 10 月 16 日(台風 26 号) 浸水面積 687ha 浸水家屋数 1,226 戸
- ・令和元年 10 月 25 日 浸水面積 1,762ha 浸水家屋数 3,596 戸

③ 投資効果〔裸書：全体事業、（ ）：残事業〕

- ・浸水戸数 8,167 戸(6,414 戸)減
- ・浸水面積 1,832ha(1,159ha)減

④ その他

- ・二級河川一宮川水系河川整備基本方針の策定 H27.6.3
- ・二級河川一宮川水系河川整備計画の変更 R2.12.16
- ・圏央道(首都圏中央連絡自動車道)開通 H25.4.27
- ・一宮川流域治水環境対策協議会
- ・一宮川河川改修促進期成会
- ・一宮川流域減災対策会議 R2.1.29～
- ・一宮川流域治水協議会 R2.12.21～

【対応方針
(案)】

一宮川水系は、令和元年 10 月 25 日と同規模の降雨に対する再度災害対策事業であり、本治水事業への地元からの要望が極めて強く、また、全体事業の費用便益(B/C)は 5.0(残事業 6.0)となり、事業の投資効果が見込まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

事業概要図

番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)ほか	路線又は 箇所名等	二級河川一宮川水系 一宮川、 阿久川、豊田川、三途川、水上川
----	---	-----	-------------------------	--------------	-----------------------------------

【計画平面図】

■ 事業期間 昭和46年度～令和11年度

■ 全体事業費 95,340百万円※1

■ 事業概要

※1 このうち、今後事業化する分は概算事業費であり確定値ではない

(事業中(一宮川(JR橋梁～三途川合流点))

- ・河道掘削 (①社会資本整備交付金事業、②大規模特定河川事業)
- ・堤防高上げ
- ・一宮川第二調節池の増設 } (③事業間連携河川事業)
- ・河道拡幅
- ・護岸法立て } (④河川激甚災害対策特別緊急事業)

(今後事業化※2(一宮川(三途川合流点より上流)・支川))

- ・河道掘削
- ・堤防整備
- ・調節池の整備
- ・水田や休耕田等の遊水機能の保持
- ・輪中堤、宅盤高上げ

※2 地元意見交換会での意見を踏まえ、学識者、国、県、市町かなる検討会にてとりまとめ、流域市町村長で構成する減災対策会議にてR2.12.21に合意された河川整備案令和3年度に河川整備計画に具体箇所を位置付け

【凡例】

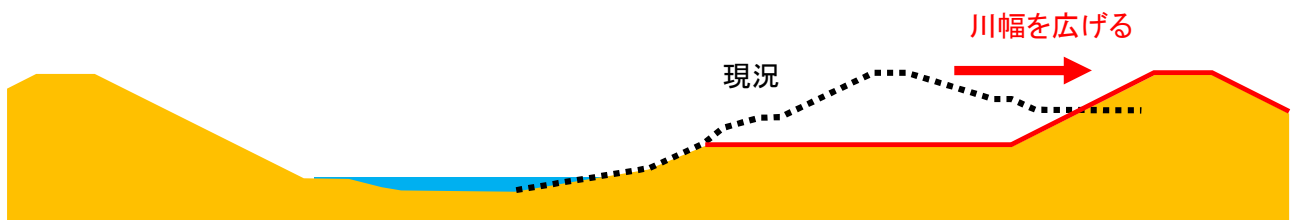
— 事業中

.... 今後事業化(令和3年度に河川整備計画に具体箇所を位置付け)

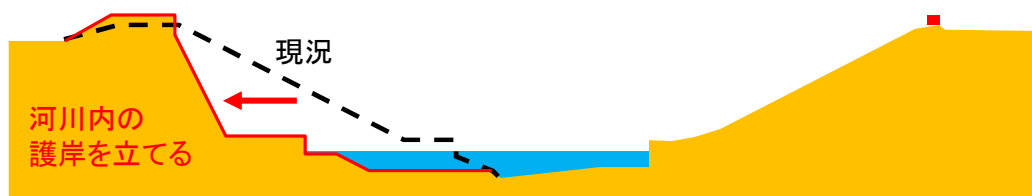


【代表横断面図】

● 河道拡幅(瑞沢川合流点～鶴枝川合流点)



● 護岸法立て(鶴枝川合流点～豊田川合流点)



再々評価事業に関する調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)ほか	路線又は 箇所名等	二級河川一宮川水系 一宮川、 阿久川、豊田川、三途川、水上川
事業化年度	昭和 46 年	用地着手年度	昭和 49 年	工事着手年度	昭和 56 年

【再々評価 (H25 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 25 年度	供用開始年度	平成 34 年度	対応方針	継続
B / C	1.77 [1.47]	総費用	21.3 億円 [131.9]	総便益	37.6 億円 [193.8]

(裸書 : 残事業、[] : 全体事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H25)
事業費	109.0 億円	87.1 億円 (79.9%)
うち用地・補償費	41.3 億円	40.0 億円 (96.9%)
うち工事費	67.7 億円	47.1 億円 (69.6%)

【再々評価 (H27 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 27 年度	供用開始年度	平成 34 年度	対応方針	継続
B / C	2.37 [1.99]	総費用	91.0 億円 [451.8 億円]	総便益	216.0 億円 [897.1 億円]

(裸書 : 残事業、[] : 全体事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H27)
事業費	184.1 億円	98.0 億円 (53.3%)
うち用地・補償費	57.1 億円	46.8 億円 (82.0%)
うち工事費等	127.0 億円	51.2 億円 (40.4%)

再評価後の 経過 及び 処理状況	平成 26 年 1 月 平成 25 年度第 2 回千葉県県土整備公共事業評価「継続」 平成 28 年 2 月 平成 27 年度第 2 回千葉県県土整備公共事業評価「継続」
---------------------------	--